

令和5年度 文京区立誠之小学校 学校経営計画

令和5年4月3日

各種関連法規

- 教育基本法 ○学校教育法 ○こども基本法
- 各種審議会答申 ○教育振興基本計画
- 学習指導要領(小・中 他)
- 文京区教育委員会
- ・教育ビジョン・教育目標・教育指針・主要施策 等

学校教育目標

人権尊重及び「誠之人道」の精神を踏まえ、豊かな心と生涯学び続ける意欲をもち、たくましく心身の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

◎ 心身ともに健康な子 ○ よく考えて やりぬく子 ○ 心豊かで 思いやりのある子 ○ 自分のよさを生かし 人のためになる子

また、地域、保護者、学校の代表からなる学校運営協議会を設置した「地域運営学校」として、地域、保護者の思いや力を学校運営に反映する。

保護者・地域の願い等

- ・健康・安全・安心で楽しい学校生活
- ・伝統ある学校を誇りとした思い
- ・豊かな心の醸成、自己肯定感の向上
- ・外国からの転入児童の増加
- ・施設等で制限のある中での体力向上
- ・学校運営協議会・地域学校協働本部・誠之校友会 等

教育で一番大事なことは、人を幸せにすることである

目指す学校像

- 学校は ①子供たちのためにある ②公立学校である
③義務教育段階である ④生涯学習の基礎づくりの場である
- ◎ 子供たちが毎日楽しく登校し、明日を待つ活力に満ちた明るい学校
 - ◎ 子供たちに夢と希望を抱かせ、笑顔あふれる学校
 - ◎ 教職員の創意と工夫が生きる ONLY ONE の学校
 - ◎ 地域に開かれ、地域と歩み、地域の誇りである学校

目指す子供像

子供たちに生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努める。

誠之小学校の基本理念 〈誠之の心得〉

- 心身ともに健康で、誠ある生活に努める
- 品位を保ち、ともに尊敬しあい、礼を尽くす
- 学校、家庭、社会のきまりを守る
- 思いやり、いたわりの気持ちをもつ
- 学校、地域を大切にし、誇りをもつ

目指す教職員像

教育という仕事に誇りと責任をもつとともに、教職員一人一人が組織の一員としての強い自覚をもち、共通理解に基づく指導を徹底する

- ◎ 明るく元気で心身ともに健康な教職員
- ◎ 創造性豊かで何事も誠実に追求する教職員
- ◎ 互いに認め合い尊重しながら、心豊かに生きる教職員
- ◎ 子供たちに深い愛情をもち、安心感をもたせる教職員

基礎・基本の確実な定着と一人一人のよさを生かす教育指導	ONLY ONEとしての誠之小学校	豊かな心と社会性を育む道徳・生活指導	子供たち・保護者・地域に開かれた誠之小学校	施設・設備の効果的活用と子供たちに働き掛ける教育環境の整備	組織の活力につながる効率的、効果的な学校事務・校務分掌
<ul style="list-style-type: none"> ○ Society5.0に向けて、個別最適な学びと協働的な学びの往還を実現し、基礎・基本の確実な定着を目指した指導の充実 ・教師の専門性を生かした専科制(理科・外国語)や習熟度別学習指導、少人数指導等、指導体制・指導方法の工夫 ○ 「分からないことが分かる楽しさと喜び」を体感できる授業の充実 ・全ての子供の学習権の保障 ・「教える」授業から「学ぶ」授業への転換 ・子供の「分からない」を引き出し、「分からないことが分かる楽しさと喜び」を体感し、振り返りを大切にした授業の充実 ・指導のPDCA サイクルの日常化 ○ 個のよさを生かす教育の推進 ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善 ・ICT機器等を活用した主体的・対話的で深い学びの実現 ・一人一人の子供に寄り添った特別支援教育の充実 ○ SDGs の視点に立った教育活動の展開 ・持続可能な社会の創り手となることが期待される子供たちへの質の高い教育の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい学校の創造と適正な運営 ・誠之小学校方式による「学校運営協議会」の充実 ○ 「子供を育てる」学校から「子供が育つ」学校としての取組の充実 ・知識を教えるだけでなく、子供たち自らが主体的に取り組み、自ら育つための基盤づくり ○ 「人のよさを認め合い、高め合う子供」をテーマとする校内研究の充実 ・国語科を中心に、思いや考えを伝え合う活動の実践 ○ 特色ある教育活動の継続実施 ・「副読本『のびゆく誠之』」「誠之カルタ」を活用した指導 ・150周年を見据えた教育資源の開発と伝統の継承 ・「学校2020レガシー」として、「日本人としての自覚と誇り」を育む指導の工夫 ・制限された環境下における体力向上のための積極的な取組 ○ 義務教育9年間を見通し、学習規律の徹底を図る教育活動の充実 ・小・中学校間の連携による小学校から中学校への円滑な接続 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供の生命・安全・健康への十分な配慮と安心できる居場所づくり ・日常的な感染予防対策の徹底 ・子供たち自らが安全を確保することのできる基礎的な資質・能力の育成 ・全ての子供が自己肯定感を高め、存在感をもてる教育の実践 ○ 自己決定を大切にしたい自律心を育む生活指導 ・子供の視点に立った「誠之のきまり」による自律的な活動の奨励 ・「誠之の心得」の共通理解に基づく生活指導の徹底 ○ 心にゆとりをもった楽しい学校生活と好ましい人間関係の構築 ・子供を褒める3要素(結果より過程を、自分よりも人のことを、模倣・空論より創造・実践を)、叱る3基準の励行(人権、生命、迷惑) ○ 社会性と思いやりの育成 ・青少年赤十字(JRC)活動、ボランティア活動、環境保全にかかる活動等を保護者や地域の方々と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭・地域から親しみと信頼を得、誇りに思われる学校の構築 ・学校経営方針・教育内容・方法、日常の子供たちの活動状況の積極的な広報・公開 ・地域の力を活用した授業及び校外学習の推進 ○ 学校関係者評価の充実による学校評価の実施 ・より地域に密着した学校となるよう、学校評価の適切な反映 ○ 地域学校協働本部、PTA、誠之校友会、町会等の諸事業への積極的参加 ・地域に根差した教育の推進と地域行事等への積極的参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎、校庭、校内施設・設備の計画的・効果的活用 ・きれいな学校となるよう清掃が行き届き整備された校舎・施設等の充実 ・令和6年6月に完成予定の学校改築を見据えた施設・設備の整備 ○ 教材・教具の創造・開発・活用 ・教育効果を高めるため、身近な事柄を取り上げたり、子供の興味・関心等を生かしたりするなどの創意工夫 ○ 清潔でさわやか、しかも子供たちに働き掛ける教育環境の整備 ・居心地、学び心地のよい教育環境の整備 ○ GIGA スクール構想が実現されることを最大限生かした学びの質の向上 ・ICT利活用のための基盤の整備と子供の情報活用能力の育成 ○ 「新しい生活様式」も踏まえた衛生環境の整備や、新しい時代の教室環境に応じた指導体制、必要な施設・設備の整備 ・子供たちの健やかな学びの保障 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最小の予算で最大の効果をあげ得る予算執行 ・予算の重点的配分、計画的執行、節約等の実施 ○ 組織の一員としての当事者意識の醸成 ・互いの信頼関係に基づいた校務運営 ○ 業務を見える化するとともに、会議を精選し、時間を有効に使う校務の効率化 ・開始終了時刻の厳守励行・事前資料、簡素提案、効率審議・報告・協議事項の明確化と電子会議化 ○ OJT実施体制の充実による「教育のプロ」としての教員の指導力向上 ・教える側と教えられる側の双方向の学び合い、高め合いの組織的・計画的・継続的な取組 ・校内における気付きを基にした業務改善に取り組む自立型人材育成 ○ サービスの厳正(個人情報管理、勤務時間、文書・現金管理等) ・サービス事故防止に向けた意識や自覚のより一層の向上 ・学校教育に対する信頼向上への不断の努力